

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和 4年 3月 24日

事業所名 多機能型事業所ミルキーウェイキッズ

保護者等数（児童数4名 回収数 5 名 割合80 %）

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	1	0			人数が多い時は、十分に動き回れるスペースもなく、お子さまたちにも窮屈な思いをさせているかもしれません。人数や環境に合わせ、外活動に移行するなど活動内容を検討し、安全に過ごせるよう配慮させていただいています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	3	1	0			基準上、必要な配置は満たしておりますが、お子様の成長・自立に合わせた職員の配置を行います。又、専門性をより高められるよう、各スタッフへ研修を実施しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	2	0			設備上どうしてもバリアフリーが難しいですが、スロープを配置して段差を解消したり、トイレには簡易的な手すりをつけていたり、角など危ない所は保護をしたり、できるかぎり配慮をしております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	1	0	0		生活空間は感染対策として毎日屋内のアルコール消毒、定時の換気等を行い常に清潔を保つよう実施しております。活動内容も、3密を避ける工夫をし、感染対策に努めています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	2	2	0	0		半年に1度、保護者様との個別支援会議をさせていただき、個別支援計画書を見直し、作成させていただいています。お子様と保護者様のニーズに合わせ、より良い支援が提供できるように工夫しています。必要に応じ、保育園や療育との情報共有もさせていただいています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	2	0	0		個別支援計画書の発達支援の中でも(健康・生活)(言語・コミュニケーション・人間関係・社会性)など、個々のニーズや課題に応じて必要な項目を選択し目標にあげ、目標が達成できる様に支援の内容を工夫しています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	1	0	0		スタッフミーティングの時間を活用し支援目標が達成できるための手立てを話し合い、スタッフ間で統一した支援ができる様に努めます。

保護者への説明等	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	3	1	0	0	個別療育と集団療育の両方の観点を組み込んで活動プログラムを考えさせていた だいています。 活動プログラムは、毎日どのように過 すのかをスタッフで話し合い、提供させ ていただいています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	2	0	コロナ禍にて交流する行事やイベントに 参加や企画をすることができま せんでした。直接的な関わり以外に、何かしら関 わりのある機会を提供することができる よう検討します。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がな されたか	3	1	0	0	契約時に重要事項説明と一緒に説明させ て頂いております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに 基づき作成された「児童発達支援計画」を示しな がら支援内容の説明がなされたか	3	1	0	0	半年に1度、保護者様との個別支援会議 をさせていただき、個別支援計画を見 直し、作成させていただいています。 お子様と保護者様のニーズに合わせ、よ り良い支援が提供できるように工夫して います。必要に応じ、保育園や療育との 情報共有もさせていただいています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレン ト・トレーニング*4等）が行われているか	4	0	0	0	必要に応じて保護者様の面談は実施させ て頂いていますが、適切な助言ができる 様、スタッフ一同、様々な研修に参加 し、知識を深め、お子様と保護者様の ニーズにお答えすることができるよう努め ていきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ど もの健康や発達の状況、課題について共通理解が できているか	3	1	0	0	ご利用時の様子は連絡帳に記入し、お迎 えの際に口頭でもお伝えし、自宅での様 子も含めて情報の共有を図っておりま す。必要に応じ保育園や他事業所の様子 もつかっており、お子様の成長・自立 を少しでも促す事ができる様な統一した 支援及び、健康状態の把握ができるよう に努めています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する 助言等の支援が行われているか	4	0	0	0	半年に一度モニタリングを実施し事業所 での様子や自宅での様子、ご家族の困り 事等聞き取るようにしておりますが、早 急に面談が必要な時には、その都度ご家 族と日程を調整し実施しております。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等 により保護者同士の連携が支援されているか	0	2	2	0	コロナ禍にて、毎年1回開催していた 保護者会や交流の機会となる行事などが 開催できておらず、申し訳ありません。 保護者同士の情報交換や連携ができる方 法を企画検討してまいります。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	1	0	0	必要に応じて保護者様の面談は実施させて頂いておりますが、適切な助言ができる様、スタッフ一同、様々な研修に参加し、知識を深め、お子様と保護者様のニーズにお答えすることができるよう努めていきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3	1	0	0	対面やお電話、連絡帳やLINE等で情報の伝達を行っております。できている時とできていない時があり、毎回確実に周知できるようにスタッフ同士の情報の伝達を密にし、保護者様とも情報の共有と連携を図り支援に繋げる事ができるよう努めます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	1	0	0	毎月お便りにて活動概要、行事予定のお知らせを行い、自己評価はホームページ上で公表しております。災害時など緊急性があるご連絡などは、公式LINEを活用し、一斉に保護者様へご連絡と周知をいただいております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	3	0	1	0	今後の対応に期待します。 SNSの写真の使用についてご指摘をいただき、不快な思いをさせてしまい大変申し訳ありませんでした。今後、写真の使用をはじめ個人情報の取り扱いに関しては、十分に配慮し、徹底して取り組んでまいります。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	4	0	0	0	安全管理についてのしおりを作成し、緊急時の対応、感染症マニュアルを記載したものを保護者様へ配布と説明をさせていただきます。防犯に関しては、避難訓練と共に訓練しております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	2	0	0	火災を想定した避難・救出訓練を年に2回実施しています。AEDの使い方や緊急時の対応も確認しています。災害時の備蓄も管理しており、AEDも設置しています。
満	22	子どもは通所を楽しみにしているか	3	1	0	0	お子様が「楽しい、また来たい」と思えるよう活動や行事を企画していきます。一人ひとりの成長に合わせ介入するとともに、年齢相応の経験や活動も提供していくことができるよう努めていきます。

足 度										
	23	事業所の支援に満足しているか	4	0	0	0				いつもご利用いただきありがとうございます。お子様や保護者様との関わりを通して、たくさんの気づきと学びをいただいております。お子様にとって、安心できる場所であり、よりどころになれる存在であるように、今後ともスタッフ一同努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。